

イノベーション創出
に資する施設整備

学生の修学支援
に資する施設整備

グローバル化に
対応した施設整備

その他

新潟大学中央図書館～快適かつ機能的な知の空間



建物 外観写真

基本情報

大学名：新潟大学
建物名：中央図書館
工期：平成23年11月～平成25年3月
構造・階数：RC・S 地上3階
延床面積：14,272㎡
事業費（設計費含む）：1,919,190千円



ラーニングcommons

整備の方向性

○コンセプト

- ・ラーニングcommons機能の強化・拡充
多様な学習形態に合わせた開放的な空間の整備
- ・アーカイブ機能の強化・拡充
自動化書庫の導入による書架狭隘の解消
- ・インフォメーションラウンジ機能の強化・拡充
学内外の人が交流が可能な新たな機能を整備
- ・ハイブリッド図書館の実現
電子資料と紙資料が自由に使える図書館機能に加え、ラーニングcommons・アーカイブ機能・インフォメーションラウンジ機能を一体化して整備
- ・図書館機能の再生
目次空間を設け、利用者の動線がよく「見通しがよい、わかりやすい図書館」を整備

計画・設計上のポイント

○図書館機能の再生

- ・耐震補強を施し、安心安全・開放的な学習空間を実現
- ・既存建物の中央部を3層吹抜けとした立体動線として配置し、館内を一望できる目次空間を新設
- ・目次空間を中心とした6つの資料ゾーンを配置

○ラーニングcommons機能の強化・拡充

- ・多様な学習スタイルにあわせて、ICT講義室・プレゼンエリア・グループ学習室を整備
- ・教育組織と連携、スピーキングブース・会話スペース・外国語学習支援スペースを整備
- ・学生が什器類を自由に移動し、使いやすい学習環境を創造できる広いスペースを確保

○既存建物との一体化

- ・既存部図書館に増築部をコの字型に配置し中庭を囲む循環動線を持たせた活動的な図書館として整備

Before

目次空間



After



閲覧スペース



書架スペース



施設整備の効果

○利用者の増加

- ・明るく開放的な図書館に多くの利用者が来館し、利用者数が倍増した。

H23年度(改修前)約49万人 → H26年度 約100万人

- ・学生からは「話せる雰囲気がいい」「グループ学習がしやすくなった」「気軽に入館できるようになった」との声が寄せられており、人が集まる図書館となった。

ソファー・ベンチを配置し、学習の合間の休憩・リラックスできるようなアメニティ環境に配慮
自習スペースの机を窓側に配置し、明るい学習環境を提供
書架間を広くし、ゆったりと図書を探すスペースを確保

○整備コンセプトに対して

- ・図書機能の再生

中央部分に3層を貫く立体動線を新設し、館内が一望できる目次空間を設け、書架スペース・閲覧スペース及び利用者動線を効率よく配置し、「見通しがよい、わかりやすい」利用環境となった。

- ・ラーニングコモンズ機能

ラーニングコモンズ・グループ学習室は、常に多くの学生に利用されている。

- ・アーカイブ機能

自動化書庫の導入により、収納スペースを増加し資料整理・貸出返却が正確に行えるようになったことで、学生・教職員が必要な資料を迅速に確実に入手できるようになった。

- ・インフォメーションラウンジ機能

パブリックスペースとして、学生の他に地域の方々にも利用され交流の場になっている。

ラウンジ：大学の活動を紹介するプレゼンテーションスペースやミニコンサート会場など
イベント開催実績 H26年度：22件

ライブラリーホール：国際会議・学会・研究会のほか、一般向けの講演会・公開講座など
ホール利用実績 H26年度：166件